

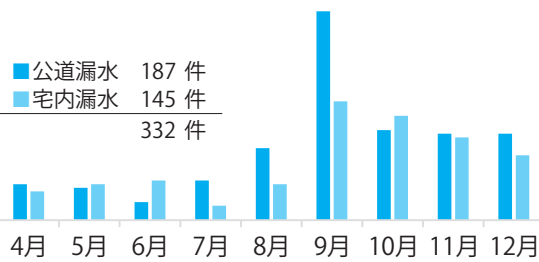
～漏水防止対策～
貴重な水を無駄にしないために！

漏水の通報や修繕に関する問い合わせは
維持班 ☎0475(55)7854

山武水道管内の漏水件数は年々増加している状況です。水道管からの漏水は大切な水が無駄になるだけでなく、道路陥没等の二次災害につながる恐れがあります。今回は水道事業の課題のひとつである『漏水対策』についてご紹介します。

1 山武水道の現状

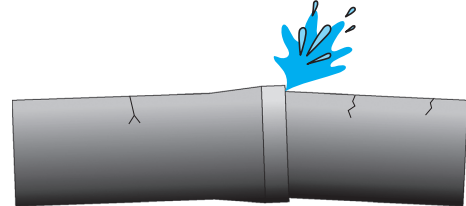
令和元年12月末時点で山武水道の漏水件数は332件と昨年度のおよそ1.2倍になっています。例年に比べ漏水件数が多いのは、水道管の老朽化等によるものです。



2 水道管にも寿命があります

山武水道の創設時に布設した水道管は40年以上経過しているため、老朽化した管のつなぎ目（継手）や分岐箇所から漏水が発生している状況です。

また、老朽化し壊れやすくなった水道管は、大規模な地震が発生することで破損し漏水することもあります。



引用：水道PRパッケージ

3 漏水防止対策は何を行っているの？

その1 漏水調査

漏水探知機を使用し、地中内で発生している漏水の流れる音を地上から聴き分け特定する方法です。

地道な作業ですが、漏水調査を実施することにより小さな漏水のうちに見つけ・修理ができ、道路陥没等の事故を防ぎます。

漏水調査の様子⇒



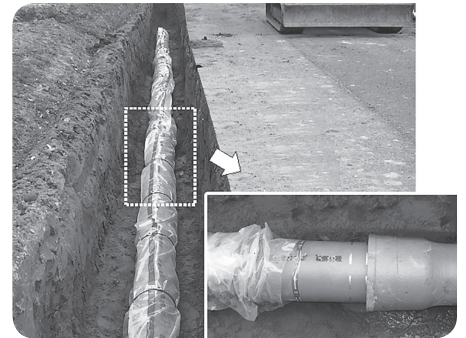
ヘッドホンで音を聴きとっています！

その2 水道管の更新工事

古くなった水道管を順次、新しい水道管に取り替える工事を行っています。

現在、更新している水道管は、地震が起こった際に壊れにくい「耐震管」を使用しています。

地震に強い水道を目指し計画的に工事を進めていきます。



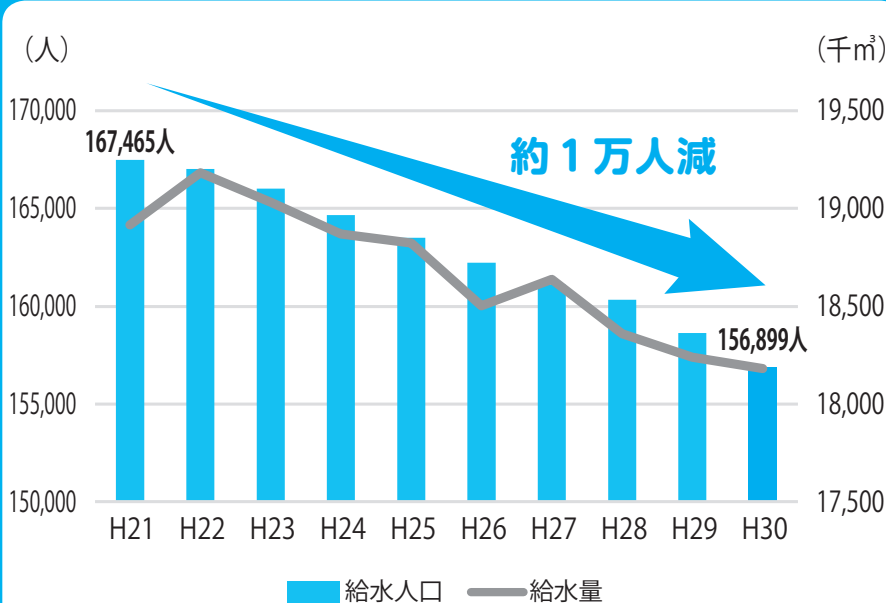
お願い 晴れているのに道路が濡れているなど少しでもおかしいと感じたら施設課 維持班までご連絡をお願いします。

発見

水道を取り巻く現状 Vol.1

数字で見よう。～給水人口と給水量の推移～

水道は、今や私たちの生活に欠かせないものになりました。しかし、全国的にも人口減少が進み水道を使用されるお客さまの数も年々減少しています。今回は給水人口と給水量の推移に着目し、山武水道の現状を見ていきたいと思います。



■ 給水人口

平成21年度末で167,465人だった給水人口は、ここ10年で156,899人まで減少しました。

■ 給水量

給水人口の減少に伴い、給水量も年々減少しています。この他にも洗濯機、トイレなどの節水型機器の普及により各世帯の使用量が以前に比べ少なくなっていることが要因として考えられます。この傾向は今後も続く見込みであり、料金収入も年々減少しています。

このような状況でも、安心・安全な水道水を安定してお届けしていくために山武水道では「中長期経営プラン2016」を策定し、取り組んでいるところです。令和元年度に本プランの中間見直しを実施しましたので、ホームページをご覧ください。

山武水道 中長期経営プラン

検索

